

# かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 17 No 6

191号

平成21年 6月 1日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

## 辛かった？セブ島旅行記

院長

ゴールデンウィークは長期の休みをいただき、皆様にはご迷惑をおかけしました。せっかくの休みをいただいたので、たまには、砕けた旅行記をお読みください。楽しかった、辛かった、いろいろなことがあったひとり旅でした。

予定は、息子と恒例のセブ島訪問でした。なぜセブ島なのかということに関して、少しだけ説明を。インターネットの医療相談で知りあった友人がいるのです。5年前から1～2年に1度は息子と一緒に訪れていました。海外に住む日本人にとっては、日本語で相談できる医療相談は大変ありがたいようです。最初の訪問で大歓迎を受け、2回目からはすべてのスケジュールをたてて、航空券とホテルの予約だけで、送り迎えを含めて連日お付き合いしてくれます。年齢が近く、価値観や考え方も一緒なので、その後深い付き合いを続けています。今回の滞在ではゴルフ3日、ダイビング1日の超過密スケジュールでした。

セブ島行きの直行便は成田発。友人に会えるうれしさと久しぶりの一人旅で、ちょっとワクワク。牛タン、萩の月など仙台土産を両手に抱え、新幹線で東京、そして成田エクスプレスで空港へ。手続きを済ませてロビーをうろうろしていると、何か緊迫した空気が。立ち入り禁止の黄色いテープの中、紺色の制服とヘルメット姿の隊員が盾を持って。周りではスーツとネクタイ姿の目つきの鋭い連中が、無線で連絡を頻繁に。イスの近くに置かれた紙袋を特別な機械で検査中。何やら覗き込むと「危ないから下がって」と怒鳴られ、思わず爆弾！？という言葉が。危険への不安より持ち前の好奇心が顔を出し、下がっての言葉に負けず写真とビデオ撮影。搭乗時刻と深追い危険という脳からの指令で、後ろ髪をを引かれる思いで搭乗口へ。その後のニュースでは事件の報道無し。いったい何だった、ただの空振り？！

フィリピン航空PR433便で、一路セブ島へ。着は18:30、むっとする蒸し暑さと懐かしいような南国の香り。入国手続きを済ませて友人へ電話。程なく、笑顔と「こんにちは」の声とともに車でピックアップ。早速「お疲れ様、今日は何を食べましょう」の一言。早速フィリピン料理のレストランへ。半年ぶりにも関わらず、1週間しか経っていないような錯覚。セブのゴルフは昼の暑さを避けるため、早朝スタート。6時半ピックアップの約束で、早めにホテルへ。がらんとしたひとりの部屋、楽しみと裏腹にちょっと寂しい気持ちにも。5時半の目覚ましを掛けて、「おやすみなさい」

朝ロビーでの「おはようございます」の言葉で、二日目の始まり。スコアはさておき十分堪能し、友人の仲間と共に昼食

は日本食レストラン。これが悲劇を産むとはつゆとも知らず、美味しい日本食「ご馳走さま」。夕食の約束をして、午後はお昼ねタイム。夕食は、お決まりの韓国料理。またまた、お腹いっぱい、翌日のダイビングに備えて早めのベッドイン。


三日目も6:00のピックアップ。朝からどうも食欲が無く、何かお腹の調子がいまひとつ。車に揺られているうちに、微妙に腹痛と吐き気が。ダイブショップから船でポイントまで。時間とともに腹痛と吐き気が、波のように襲来。普段船酔いはしないはずなのに？。ポイントに着いたところから嘔吐の始まり、吐物による窒息と迷惑を考えダイビングを中止に。皆が潜っている間、嘔吐、そして下痢の応酬。独りぼっちの状況で、旅行の楽しさもいつしか苦しさに。笑い話をひとつ、下痢も水様でしぶり腹、出た後でもすぐまた便意が。船のトイレは便器だけ、自分が海水で水洗。もちろん鍵付き。出では戻りしているうちに誰もいないので鍵忘れ、皆が上がってきて慌てて鍵をと思った途端に女性が。「きゃー」と「めんなさい」。しばらくばつが悪かったのは、いうまでも無し。ダイブショップに戻るや否や、ひとりだけホテルへUターン。息子の知り合いのインストラクターと気合いを入れての頑張り記念撮影。帰ってからは、泥のように眠り続けました。とは言ってもひとり、友人が気にして電話くれるも遠慮が優先。夜はふらふらな足取りでスポーツドリンクとパンの買い出し。

翌日のゴルフもキャンセルと散々な旅行に。午後は友人の気遣いで、お粥の昼食。まる一日の安静のお陰で、時々締めつけられる腹痛あるも次第に改善。やっと食欲が出てきた夕食は、友人の家族と一緒に楽しい時間。セブ島の日本人の間でも、新型インフルエンザの不安が拡大とのこと。インフルエンザの話をしているうちに、翌日医療相談会の開催決定。

字数が多くなったので、少し手抜きを。翌日は何とかゴルフ終了。せっかく遊びに来てゴルフもダイビングも出来なかったのに、仕事？。『お母さんの不安・心配の解消』の理念に目覚め、しぶしぶ(本当はうきうき)参加者の経営している日本料理店へ。総勢10人が集まり、まるでセブ島版『お母さんクラブ』。美味しい食事と新型インフルエンザの話題で盛り上がり、あつという間の2時間半。参加した皆さんの安心した笑顔と感謝の言葉で、仕事の満足感もひとしお。美女に囲まれた興奮の中、早朝の出発のため早めに「おやすみなさい」。

5時にはホテルを後にして、空港へ。名残惜しさと寂しさのうちに再会を約束して、「さようなら」。嘔吐下痢症のため入国には検疫の不安と心配。「新型インフルエンザに仙台の小児科医罹患」という見出し(笑)を頭に描きながら。幸い発熱は無く、検疫に引っかからず入国は問題無し。

ということで、いろいろな意味で、思い出深いセブ島旅行でした。皆さんにはご迷惑をおかけしましたが、楽しく、苦しく、辛い、でも充実した旅行をさせていただきました。ありがとうございました。(旅行の写真はHPに掲載予定。乞うご期待)



**6月のお知らせ**

- ・医学部学実習(群馬大学)  
6月8日(月)～12日(金)  
ご協力をお願いします
- ・栄養育児相談  
毎週水曜日 13:30～  
栄養士担当 無料

麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日に麻しん風しん混合ワクチンを』



## 読者の広場

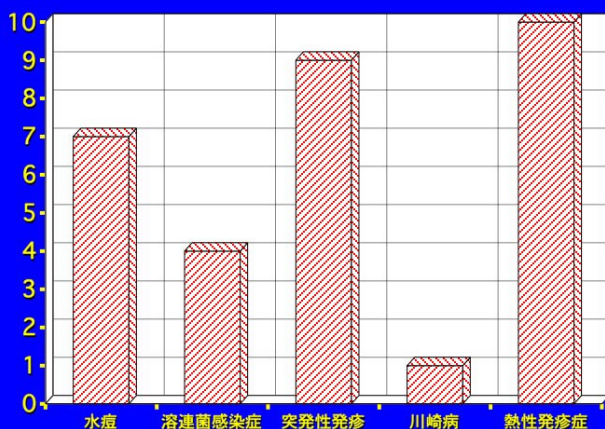
呼びかけの甲斐があって、先月は9通に増えました。ありがとうございます。

まずは千葉に転居した岩城さんからのメールです。「こんにちは。いわきゆうやの母です。生まれてからずっとお世話になっていました。先週、千葉に引っ越しをしました。川村先生をはじめスタッフの方々には大変お世話になったのでお礼をしたくてメールさせていただきます。私は、ゆうやが1歳3ヶ月の時から保育園に預けパートではありますが働きに出るようになりました。いざ働きにでると今まであまり熱をだすことがなかったのに週1回は熱をだし保育園からお呼びだしがかり、さらには、二週間くらい熱が下がっては上がりの繰り返しでした。働きはじめた私は早退や休みをもらってばかりで職場に対しての申し訳なさ、ゆうやを保育園に置いて働こうとしたことへの後悔、仕事も子育てもまともでないことへの憤りで精神的におかしくなりそうでした。毎日のようにかわむらクリニックに通ってました。私が保育園に通わせたからこんなに病気をさせてしまったと自分をせめてましたが、川村先生は『大丈夫、風邪だからすぐよくなるよ』と安心感のある声でおっしゃってくださったり、わかりやすく説明してくださいました。急にオナカ痛いと言いだし電話した時も時間外だったのですが早く診て頂きました。本当に安心できました。そして看護師の佐藤さんは私の気持ちを見抜いて『保育園行きはじめるとみんな最初は体調崩してしまうんだよね、でもその分丈夫な子になるからっ！お母さんは仕事休まなきゃいけないで大変だけどもう少しすれば風邪もめつたにひかなくなるから辛抱だよ』と声をかけて頂き涙がでるくらいうれしかったです。勇気がわいてきました。本当にそうでした、その後ゆうやは減多に熱を出さなくなり比べものにならないくらい丈夫になりました。出勤するとき、クリニックの前をいつも通っていたのですが、通るとスタッフの方々駐車場をお掃除していて『いつてらっしゃい』と笑顔で送りだして下さったり、『だっこ紐で大変だね』と声をかけて頂いたり朝元気をたくさん頂きました。私たち親子にとってかわむらこどもクリニックは病院以上の存在でした。そんな素敵な病院に出会えて幸せです。離れた土地から先生はじめスタッフの方の御健康とご活躍をお祈りしております！。今回も他県からのメールを頂きました。「病院以上の存在でした」というのが、うれしいですね。仙台でのいい思い出のひとつとしてクリニックが役立ったのはうれしいことです。病院以上の存在になるようスタッフ一同これからも、努力します。本当にありがとうございました。まだまだ紹介したいメールがありますが、『お母さんクラブ』の“どうしたらいいの!? 新型インフルエンザ”の会員の三品さんからの印象記を紹介します。「1歳になりたての娘がいる私には、「新型インフルエンザ」がマスコミ等で騒がれて以来、乳幼児に対する治療法や予防法について詳しく知る機会が欲しいと思っていました。そんな中でしたので、今回は飛び付くような感じで参加させていただきました。「新型インフルエンザ」の正しい知識、症状、今後の流行等を、先生が参加者全員に質問しながら進めていくという形式はとても頭に入り楽しみながら正しい対応の仕方を学ぶことができました。うがいは水かお茶でという当たり前の事を我が家では出来ていなかったことに驚き!! でした(今までコルゲンうがいぐすりです...)。今回参加して1番大事だと思ったことは親がウイルスを家に持ち込まないということです。夫と共に、出来る事をきちんとしていこうと思います。新型インフルエンザに限らず、親になった以上子供を育て守る責任があります。いつもおかあさんクラブに参加するとこのことを再認識させられます。今後も、おかあさんクラブで足りない知識や母としての心構えを学んでいきたいと思っております。よろしくお願い致します。」



話題になっていたこともあり、総勢40人以上の参加となりました。たまたま小松島小に実習に来ていた宮城大学の学生さん2人、医療センターに実習に来ていた医学部6年生の息子(誰も気づきませんでしたよね?)。NHKの「てれまさむね」の取材クルー(同日放映されました)などで、ごった返していました。首と肩の痛みをおして、スライド70枚以上を作った甲斐がありました。第二波の流行があるかもしれません。また機会を作って行いたいと思います。是非ご参加ください。お母さんクラブもよろしく御願います。

### 5月の感染症の集計



水痘と溶連菌感染症は多くはありませんが、先月と比べて増加傾向を示しています。グラフに示していませんが、インフルエンザは僅か3例で、A、B型共検出されましたが、もちろん新型インフルエンザではありません。嘔吐下痢症は変わらず、喘息と咳が止りにくいカゼが増えています。

### 首を傷めてコルセットはめています

連休の休みを取り戻そうと、丸一日新聞作り。その後首と背中の痛みが出てきました。保育所の健診、お母さんクラブの準備、診療で、苦しくなる程の痛みに襲われました。整形外科では、ヘルニア等の病気は無く、ひどい肩凝りのひとつと診断を受けました。多くの親御さんにご心配をいただきましたが、少しずつ改善してきています。首の負担を軽くするためのコルセットです。しばらく、むさい格好で診療しますが、お許しください。



### 編集後記

長く休んで遊び過ぎた訳ではないのですが、多くのお母さんさんから心配をいただきありがとうございます。経験のある人は分かってくれますが、結構しんどいです。夜も眠れない時がありました。改善しつつあります。首の安静のため、少しお待たせすることがあるかもしれませんが、ご勘弁ください。新聞作りで、また少し悪化した感じです。仕事しないのが一番!?



**K's clinic**

**麻疹風疹ゼロ作戦キャンペーン 『小学校入学前にも麻しん風しん混合ワクチンを』**  
**Ⅲ期 (中学1年生相当)、Ⅳ期 (高校3年生相当) も忘れずに!**